

# 花巻の仕事

Made in HANAMAKI

デジタルマンモグラフィ  
AMULET(アミュレット)

鮮明な乳がん診断画像を描き出す、乳がん検査用デジタルX線撮影装置。女性が女性らしく、美しく、健康であるためのお守り(AMULET)でありたいとの願いを込めて製造しています。



**会社名** 富士フィルムテクノプロダクツ株式会社  
花巻サイト

**所在地** 北湯口2-1-3 (☎0198-27-4444)

**会社概要** 平成元年創立。医療用診断装置のほか、写真用、ライフサイエンス用機器を製造。オーソン、フェア、クリアな企業風土のもと、独自の技術を駆使し、変化を続ける多種少量ニーズに合致した新しいモノ作りを続けている

## 市民生活コーナー

友人からの紹介でも断って！  
「マルチ商法的勧誘に注意」

### ■どんなトラブルがあるの？

○友人から紹介された人に「会員になれば体によい飲料水を購入できる。会員登録料は商品を購入する回数で免除され、新たに人を紹介すればボーナスがもらえる」と言われ、断りきれずに契約した。解約したいが届いた商品の宛名ラベルには業者の住所や連絡先が書いていなかったため連絡できない

○困ったときは？  
市民生活総合相談センター(☎24-2111 内線259)へ

○親しい人や仲間からの紹介・誘いは断りにくいものですが、断る勇気も必要です。自身も友人を勧誘することで、関係を壊してしまうこともあるのでよく考えましょう

○過去には聴覚障がい者の間でマルチ商法がまん延したことがありました。一人暮らしの障がい者や高齢者の家に見知らぬ人が出入りしていないか、周囲の人が日ごろから気を配りましょう

## 世界と花巻

The world and HANAMAKI

vol.19

### 世界が注目する韓国文化「キムジャン」

韓国人の食卓に欠かせないキムチ。その中に含まれるカプサイシンが新陳代謝を高めるのでダイエットや免疫力の向上に優れた食品といわれています。

韓国で11月下旬から12月中旬に行われるキムチを漬け込む行事を「キムジャン」といいます。野菜不足になりがちな冬に食料を蓄えるということから始まったようですが、厳しい寒さを乗り越えて一年を無事に過ごし、新しい年が迎えられようとの願いも込められています。

キムジャンは地方や家庭によっては一大行事で、親戚や近所の人も総出で行われる、祭りのようなものでした。昔はキムチの熟成と長期貯蔵に適しているハンアリ(素焼きのつぼ)にキムチを入れて埋めていました。温度差の少ない地中環境を利用した伝統的な保存法です。現代の韓国では、キムチを同じ状態でいつまでもおいしく食べられるよ



花巻市国際都市推進員  
朴 銀貞  
Park Yungwon

うにと作られた「キムチ冷蔵庫」が人気で、キムチを常食とする韓国人の新たな生活必需品となっています。

キムチの作り方は、野菜に塩を振り掛け水分を抜き、薬味と海産物の塩辛で発酵させるのが基本ですが、地域や家庭によってその味も若干異なります。毎年、キムジャンの時期に、母からわが家の味の手作りキムチが届きます。

韓国の知恵や伝統、風習を守り続けて、キムジャン文化はユネスコ無形文化遺産に登録されました。この素晴らしいキムジャン文化を花巻の皆さんにも紹介していきたいと思えます。



韓国で人気の「キムチ冷蔵庫」

## 再び頂点を目指す 日本競歩界のホープ

◆競歩を始めたいきっかけは  
高校時代、陸上部の顧問の先生から「競歩の適性がある」と言われたのがきっかけです。本格的なトレーニングは、2年生の春から始めました。

◆競歩の特徴は  
膝を曲げずに歩くなどフォームに厳格なルールがあるのが特徴で、大会では失

格になる選手もいます。スピードだけでなく、常にフォームを意識しなければならぬ難しさがあります。

◆好成績の要因は  
何よりも自分自身が競歩を好きになり、一生懸命取り組み、一生懸命取り組むことが大きいと思います。その中で、少しずつこつをつかみタイムを縮めてきました。

◆今後の目標は  
海外の大会では、トップ選手とのレベルの違いを痛感した反面、「自分にもできる」という手応えを感じました。まだまだゴールではありません。まずは、再び日本一の座をつかみ取りたいと強く思っています。

## パーソナル PERSON'S 98



高橋 英輝 さん  
(宮野目 21歳 岩手大4年)

## いきいき仲間たち



### 優雅で力強い舞を伝える

## 八木巻神楽保存会

【問い合わせ】

会長 佐々木隆嗣さん(☎48-9201)



演目の一つである「岩戸開き」を練習する様子。舞台上に斜めに並んで舞う場面があるのが八木巻神楽の特徴です

早池峰山麓の集落、八木巻。この地で永祿7(1564)年に始まったといわれる八木巻神楽は、江戸時代以降3回の飢饉で活動の休止を余儀なくされたものの、その都度復興し現在に至っています。神が宿ると称される優雅で力強い舞を伝承しているのが八木巻神楽保存会です。

19人の会員の多くが20代、40代と若く、八木巻以外に住んでいる人もいます。毎週土曜日の夜、八木巻集落の集会所で熱心に練習。大迫神楽の日などのイベントへの出演や舞初め、舞納めなど年間30回以上公演しています。

※舞納め12月14日(日)、舞初め平成27年1月18日(日)。  
沢崎生活改善センター(大迫町外川目)で開催